



「いちばん大切なもの」

ミュージアム都留ではこれにあわせて、中川珠世さんの切り絵作品を展覧する「中川珠世切り絵の世界展」を開催します。

自然の尊さとその愛護をテーマに、オリジナルな切り絵の技法を確立した中川さんの作品には、山の美しさ、自然の大切さ、高山植物に対する愛情が込められています。高山の生きもののたちの尊さ、山のすばらしさを共有したいという思いにふれてください。



エイザンスミレのイメージ画



切り絵作家の中川珠世さん

都留市南東に位置し、花の百名山に選定された二十六夜山には、春、エイザンスミレが可憐に咲き誇ります。これを保護し、後世に伝えるため、切り絵作家として活躍している中川珠世さんに、都留市からこれを題材とした作品の制作を依頼しました。この作品は、今夏オープンする温泉施設「芭蕉 月待ちの湯」に展示されます。

次回企画展

会期 8月5日(土)～9月3日(日)

『中川珠世切り絵の世界展』

— ライチヨウからの贈りもの —



鋭い観察力で描かれた「雉」

ミュージアム都留では、現在花鳥画、山水画など四十数点を集めた「田中蘭谷展」を開催しています。絵甲斐細の作家としても知られ、都留市と関係の深かった蘭谷の、生き物に向ける深い愛情の表れた作品をご覧ください。

〈企画展〉

『田中蘭谷展』開催中

— 郷土の画家シリーズその3 —

会期 7月30日(日)まで

開館時間 午前9時～午後4時30分
(入館は4時まで)

休館日 毎週月曜日、第三火曜日
祝日の翌日

入館料 一般 300円(210円)
高校・大学生 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
()内は、20名以上の団体料金

ミュージアム都留寺子屋講座より
先に開催された第一回芭蕉月待講座の要旨をご紹介します。

芭蕉 — 谷村来訪までの足跡 —

松尾芭蕉は正保元年(一六四四)、伊賀上野赤坂で農家であつた松尾家の次男として生まれました。

芭蕉の家には分家できるほどの資産はなかったもので、やむをえず、芭蕉は藤堂新七郎家に奉公にでました。新七郎家では、主に台所方の雑務を行っていましたが、その後、新七郎家の嗣子良忠(俳名蟬吟)に仕えるようになり、蟬吟とともに、北村季吟の弟子となり、俳諧の道を歩み出しました。

二十三歳の時、仕えていた良忠が死去。芭蕉の人生は大きく狂い、やむをえず、実家に戻ることにになり、それからしばらく不遇の時代が続きますが、二十九歳の時、江戸に下りました。当時の江戸は多種多様な人間が集まる新興都市でした。芭蕉は江戸の魚屋杉山杉風の庇護を受け、俳諧師となり、俳号を「桃青」としました。中国の李白と対比させてもスケールの大きな号であり、芭蕉の意気込みが感じられます。

三十七歳の時、性格的に合わず俳諧師の職を辞し、深川に移住しましたが、天和二年(一六八二)の暮れ、芭蕉三十九歳の時、江戸駒込大円寺から発生した大火によって芭蕉庵は類焼しました。命からがら難を逃れましたが、これまで芭蕉を支えた支援者のほとんどが罹災し、丸裸になった芭蕉は、秋元氏家臣の高山樂庵の招きで谷村を訪れることになりました。

芭蕉にとって、谷村への道のりは、初めての旅と呼べるものでした。

第三回芭蕉月待講座

交流の実態

— 連句鑑賞若干 —

日時 7月25日(火)

午後6時30分～7時30分

会場 ミュージアム都留

研修室

受講希望の方は、左記の申込先までご連絡ください。

夏休みチャレンジ教室

たんけんはっけん城下町

8月3日(木)

やってみよう! 火おこし体験

8月5日(土)

わってけずって! 竹とんぼ教室

8月9日(水)

作ろう君のオリジナル屋台

※この教室のみ三回続けての参加をお願いします

8月11日(金)・12日(土)・13日(日)

時間はいずれも、

午後1時30分～3時30分

募集開始日

7月11日(火) 午前9時

各教室とも先着20名

参加費 無料

募集受付・問合先

都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45) 80008
☎(45) 86008